

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
生物学	1年次	必修	講義	1単位(30時間)	西村裕介
授 業 概 要					
<p>生命の根元と生体の成り立ちを理解しながら、臨床検査項目との関連性を理解する。さらに、臨床検査法への応用、生体内免疫反応と臨床検査及び検査値の考え方を修得する。臨床検査技師として必要な各教科の基礎となる生物学を学ぶことにより総合的に繋がりを持った知識を修得する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生体の基本構造を理解する。 ・ 生体の仕組みや働きを理解する。 ・ 生体の仕組みや働きと臨床検査技師に必要な知識との関わりを理解する。 ・ さまざまな科目間の関連性を理解する。 					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	細胞	細胞のつくり	微生物検査		西村裕介
2	細胞	細胞のつくりと働き	1		
3	細胞	細胞のつくりと働き	2		
4	細胞	組織の成り立ちと働き	1	病理検査	
5	細胞	組織の成り立ちと働き	2		
6	細胞	組織の成り立ちと働き	3		
7	細胞	酵素とその働き	1	生化学検査	
8	細胞	酵素とその働き	2	生化学検査	
9	動物の反応	刺激と受容体	生理機能検査		
10	動物の反応	反応と効果性	生理機能検査		
11	恒常性維持	体液	一般検査		
12	恒常性維持	体液	血液検査		
13	恒常性維持	生体防御	血清検査		
14	恒常性維持	生体防御	輸血検査		
15	恒常性維持	ホルモン	生化学検査		
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書及び配付資料を用いて予習復習をすると理解が深まる。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・ 遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・ 定期試験(70%)及び小テスト(30%)により評価する。 ・ 再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>[教科書] まるわかり!基礎生物 小林 秀明 他 南山堂 配付資料</p>					